

発行 NPO 法人うえるかむ権利擁護サポートセンター船橋

うえるかむ通信



〒273-0046 船橋市上山町 1-157-4 (カメラハウス 2 階) 発行責任者 赤津 保子
船橋法典駅下車徒歩 8 分 TEL047-710-7045 / IP 050-3496-9981 / fax047-419-2655
ブログ <http://blog.goo.ne.jp/watowawelcome/Email; qqxt3s29n@canvas.ocn.ne.jp>
ホームページ <http://welcome-funabashi.org/>

『二つのニュースに接して』

船橋市手をつなぐ育成会 会長 池田健

3月29日。日本一のお笑いエンターテイナーの志村けんさんが、につくき新型コロナウイルス肺炎で逝くなりました。「8時だよ、全員集合!」「バカ殿」「変なおじさん」等々、志村さんのお笑いに接したことの無い人を探すのが大変なくらい世の中を明るくしてくれた天才でした。その志村さんにただ1人だけの文通友達がいたそうです。知的障害を持つ詩人 くりすあきら さんです。(読売新聞の記事で知りました。) 意外な一面を垣間見ました。

3月31日。相模原市の「津久井やまゆり園」で19名もの障害者のかけがいの無い人生を奪った殺人鬼 植松聖 被告の死刑が確定しました。知的障害者を巡る、あまりに両極端なニュースに接して思わず筆を進めました。……………

遅くなりましたが「NPO 法人うえるかむ権利擁護センター船橋」の設立10年おめでとうございます。コツコツと地道に権利擁護活動、成年後見受任活動をやってこられて、蒔いた種が少しずつ実となり花になって来た感じがいたします。知的障害を持った本人、その家族の方々が虐待、差別、偏見等のない普通に暮らせる

『だいじょうぶだあ!』

と言える社会が早く実現できるよう「うえるかむ」と「育成会」が手を携えて頑張りましょう。(くりすあきらさんの「ありがとう」の詩の1部は、3月31日読売新聞朝刊の編集手帳に出ています。)



通信発行遅れのお詫

新型コロナウイルスが徐々に広がり、全世界をも脅かしています。私たち NPO 法人うえるかむでも、感染を心配しながら、少しずつ進めています。通信4月号がお手元に届くのが大変遅くなりました。どうぞご

権利擁護漫画ウエルちゃん

作・武藤 健史

No. 53 「新型コロナ感染予



① 新型コロナ感染予防のために、普段からできること、正しい手洗い、正しいうがいをしてほしい。



② 咳エチケット。他の人にうつさないために、マスクをしましょう。



③ 人混みを避けて、なるべく混雑のない時間帯に行動するようにしましょう。



④ 十分な睡眠とバランスの良い食事を心がけ、免疫力を高めましょう!

うえるかむ事務所はお隣の建物に移転しました

うえるかむセミナー渡部伸氏講演（令和2年2月17日）アンケート結果より～

後援：船橋市手をつなぐ育成会

co-op みらい財団助成事業

コロナウイルス感染拡大の少し前に、「うえるかむセミナー」を開催、無事終了しました。船橋市内外から126名もの参加者。障害のある人や家族に必要な成年後見制度や支援の知識を講師の渡部伸氏から身近な事例の提示とわかりやすいお話をいただきました。好評だったことが以下のアンケート(抜粋)からおわかりいただけると思います。うえるかむとしては、今後とも、皆様のお声を生かして活動いたします。載せきれなかったご意見は後の通信でお伝えします。

参加して良かった

☆初めての話は繰り返し聞くことで定着。☆頭の中で悩むばかり。思い切って参加してみようと思った。☆具体的事例を示しての話、将来に安心した。☆子供の障害がわかった時から夫婦二人で悶々と悩んでいたが、今のサービスや事例等を聞き少し安心した。☆今日ここに来ることができて話を聞けてよかった。参加したことで暗くならず気持ち少し晴れた。☆制度やサービスをわが家に導入するタイミングの見極めが大切だと思った。☆ご本人就職のために手帳を取得したが、どこまで支援を受けられるのか勉強中。グループホームについても考えていたのでタイムリーな話が聞けた。☆ご本人自分が通所している施設で親亡き後の事が話題に。まずは参加してよかった。☆親亡き後の不安は常にあったので、つながりは大切。(同様多数)

よく理解できた

☆講師の障害者の親の立場からのお話は具体的で良くわかった。☆何から考えてよいかわからないテーマをとってもわかりやすく、事例もイメージがわいてよかった。☆遺言・成年後見人制度など参考になった。☆理解が進んだ。新しい情報を聞けた。☆社会や人とつながっていくことの大切さや準備すべきことを教わった。(同様多数) ☆社会とのつながりが親子ともにとっても大切だと感じた。☆非常に内容が多かったが、わかりやすかった。

安心した！

☆状況は徐々に良くなっているというお話に安心した。☆知らなかったことも知らなければならぬことも沢山。聞いて良かった。☆何とかかなという安心感と頑張りたいという気持ちが出てきた。☆渡部氏の「何とかかな！」という力強い言葉で力が湧いてきた。(複数の方) ☆渡部伸氏(HP)で「うえるかむ」にも相談できると知り安心した。☆心が少し軽くなった。(同様多数) ☆漠然と不安だったけど親子で普通に地域生活を送っていれば、何とかかなりそうだった。(同様多数)

渡部伸氏



一歩前へ

☆成年後見制度の利用にためらいがあった。今は使わなくても色々な支え方があることがわかり、気が楽になった。親あるあいだに一歩を踏み出そうと思う。(同様多数) ☆隣人や親戚ともつながりを大切にしたい。☆地域で生きること、関係を密にしていこうと改めて感じています。☆一番心配な事なので、もう一度考えるチャンスができた。☆いざという時に備えていきたい。☆「つながりを持つ」こと父母の会等、卒業後の団体もとても大切だ。☆遺言から始めて、今後の事を考えていきたい。☆家族で話し合いたい ☆公的支援に親しめないが、少し近づいてみようと思う。☆焦りがちですが、じっくり家族と本人を交えて話し合いたい。一人娘なのですぐに遺書を書きたい。☆本人を知る人を一人でも多く作りたい。☆アンテナを張っていきたい。☆家族で具体的に話し合いが必要。☆親あるあいだに一歩を踏み出そう。(同様回答多数)

まだまだ不安

☆我が子に必要な支援をどのようにつなげていけるか。☆GHにいつまで入っていただけるのか、同じところにいつまで入られるのか心配。☆成年後見制度を使うか迷っていた。使ったら最後まで外せないということと財産がない時、後見報酬2万円の支払いはきつい。

ご提言

☆「親心ノート」はもう少しわかりやすく。☆障害者に対して相談の総合窓口があるといい。☆若いうちに考え始めておくことが大切。☆他力も自力も共に必要。☆親亡き後の障害者支援相談窓口を千葉県でも早急に作ってほしい。☆親なき後の相談センターがあるといい。

反省点

◆長時間の休憩なしは疲れた。◆当事者向けの講演もしてほしい。(精神の方) ◆もう少し時間があつたらよかった。◆音声割れて聞き取りにくかった。◆音量が大きすぎた。

その他

☆受付で除菌ウェットシートの配布がありがたかった。☆子供の作業所でこのセミナーの事を知り、親切な対応に感謝している。☆最近気になりだした事例が多く盛り込まれていた。

身近なお困りごと、権利擁護、成年後見制度などご相談お待ちしております。うえるかむには社会福祉士や税理士が在籍。内容により適切なメンバーがご相談に応じます。



顧問に岩田康孝弁護士も在籍しています。お気軽にご相談下さい。

NPO法人うえるかむ権利擁護サポートセンター船橋
047-710-7045